

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

伝統的な和楽器を豊富に取り上げ、写真やイラストで具体的に説明し、我が国と郷土の伝統を尊重できるよう内容に配慮されている。また、多種にわたる楽器と基本的な奏法を理解できるよう工夫されており、合奏等グループ学習にも活用することができることから、豊かな人間性と創造性を養うことができるよう配慮されている。大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすことについて工夫を要するものの、全体として地域に伝わる伝統芸能や諸外国の民族音楽を幅広く学習でき、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。《⑤⑥⑦》

2. 教育基本法に基づく観点

我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮され、日本の伝統的な楽器について興味深く取組める内容になっている。また、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことについて配慮され、東日本大震災から生まれた作品にも触れ、生命の尊さを意識できるよう工夫されている。《①⑤》

3. 学習指導要領に基づく観点

楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるように配慮されている。また、合奏の種類が豊富で親しみやすい楽曲が多い。表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことができるよう配慮され、特に音楽を形作っている要素が記号でわかりやすく示されている。創意工夫させて取り組む手立てに工夫を要するものの、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てることができるようアンサンブルができる教材が多様に掲載されている。《①②⑥》

4. 外的要素に関する観点

楽譜・さし絵・写真などが鮮明で大きさや位置などがわかりやすく適切に配置され、特に楽譜のまわりに隙間があり見やすい。折り込み資料の強度を高める工夫が必要と思われるものの、製本が丈夫で装丁が生徒に親しみやすく、ポイントがわかりやすい。《①②③》

5. 構成・配列に関する観点

生徒の発達段階を考慮して、題材・教材が系統的に配列され、特にアルトリコーダーの運指がわかりやすい。学習する楽曲の難易度に配慮を要する部分があるものの、全体として基礎・基本となる能力をさらに高め、創造的な幅広い音楽活動ができるよう、教材が充実し、適切に扱われるよう配慮されている。《①②③④》

6. 資料その他に関する観点

資料は学習内容を理解し、学習活動の一助となるよう工夫されている。特に多様な音楽に触れながら表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるよう配慮され、生徒にわかりやすく正確なものを用いている。《①②③》

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

伝統的な和楽器を豊富に取り上げ、写真やイラストで具体的に説明し、我が国と郷土の伝統を尊重できるよう内容に配慮されている。また、多種にわたる楽器と基本的な奏法を理解できるよう工夫されており、合奏等グループ学習にも活用することができることから、豊かな人間性と創造性を養うことができるよう配慮されている。大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすことについて工夫を要するものの、全体として地域に伝わる伝統芸能や諸外国の民族音楽を幅広く学習でき、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。《⑤⑥⑦》

2. 教育基本法に基づく観点

我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮され、日本の伝統的な楽器について、その他の楽器とも関連付けて発展的な学習に取り組める内容になっている。また、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことについて配慮され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。《①⑤》

3. 学習指導要領に基づく観点

楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるように配慮されている。また、合奏の種類が豊富で親しみやすい楽曲が多い。表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことができるよう配慮され、特に音楽を形作っている要素が記号でわかりやすく示されている。創意工夫させて取り組む手立てに工夫を要するものの、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てることができるようアンサンブルができる教材が多様に掲載されている。《①②⑥》

4. 外的要素に関する観点

楽譜・さし絵・写真などが鮮明で大きさや位置などがわかりやすく適切に配置され、特に楽譜のまわりに隙間があり見やすい。製本が丈夫で装丁が生徒に親しみやすく、ポイントがわかりやすい。《①②③》

5. 構成・配列に関する観点

生徒の発達段階を考慮して、題材・教材が系統的に配列され、特にアルトリコーダーの運指がわかりやすい。基礎・基本となる能力をさらに高め、創造的な幅広い音楽活動ができるよう、教材が充実し、適切に扱われるよう配慮されている。一方、学習する楽曲の難易度に配慮を要する。《①②③④》

6. 資料その他に関する観点

資料は、学習内容を理解し、学習活動の一助となるよう配慮されている。特に生徒が主体的に音楽に関わり、親しむことができるよう配慮され、生徒に分かりやすく正確なものを用いている。《①②③》